提出年月日　　６．５．１７
受理年月日　　６．５．１７
陳 情 第 ３

保健センター建て替えに関する陳情

陳情要旨

現在石岡市では、石岡地区と八郷地区に設置している保健センターを、老朽化を理由として市内大砂地区のふれあいの里敷地内へ新築統合する計画が進められています。

市民の疾病の予防及び健康の保持増進を図ることを目的として設置されている保健センターであることを、もう一度再認識するとともにその目的を達成するために、利便性を重視し地域に根ざした施設として両地区にそれぞれ整備することを強く要望します。

陳情趣旨

当初の計画では、石岡保健センター、八郷保健センターともに改修ということで計画が進められていたかと記憶しています。

保健センターは、市民の健康を保持するために身近で気軽に相談・健診等ができる場所という役割があるかと思います。現在、市が進めようとしている１カ所へ集約するという計画では、保健センターの目的の一つである「地域保健に関し必要な事業」の遂行に大きな障害となることは明白です。

公共施設を集約することは必要なことと理解しますが、公共施設それぞれの用途や目的に応じた取り組みが必要ではないかと考えます。今回の保健センターの集約については、その施設の本来の設置目的から大きくかけ離れてしまうものと思われます。

急激な人口減少に歯止めがかからず、加えて少子化・高齢化が急速に進む現状を考えた場合、スポーツ施設や文化施設とは一線を画し、市民の健康管理や保持、産前産後等の子育て支援の拠点として、市民の安心安全を前提とした施設をそれぞれの地区に整備することが、人口減少対策の一助になるものと考えます。

【委員長報告要旨】

委員からは「２か所の保健センターを見てきたわけだが、石岡保健センターは雨漏りがひどく、使用不能である部屋が数か所あり、大変ひどい状況なので、一刻も早く建て替えるべきであると感じた。八郷保健センターのほうも雨漏りが数か所あるが、まだ使える状況ではあるので、建て替えが終了するまで使っていけるのかなと思う。石岡、八郷の中間の地点であるひまわりの館の敷地のところに新しい保健センターを建て替えるということになれば、双方で使えるのではないかと理解している。」との意見や、「確かに両地区にできれば本当にすばらしいことだと思うが、これから人口減少時代に進んで、両地区に置くのが果たしていいのか。それから、今、医師不足のほうも言われており、石岡地区の医師会のほうでも、なかなか両地区に行くのは難しいということも聞かされている。やはり統合して、普遍性のある施設を持つこと

もひとつの選択肢ではないか。」といった意見が出されました。

【結果】
　不採択